

## 機械式駐車場に設置されている

## 二酸化炭素消火設備の誤放出について

令和3年4月15日（木）東京都新宿区のマンション地下駐車場において、二酸化炭素消火設備の消火剤が誤って放出され、死者4名、負傷者2名を出す事故が発生しました。

皆様の建物で同様の事故を起こさないよう、次の事項にご注意ください。

### 1 工事・メンテナンス時の注意事項

二酸化炭素消火設備が設けられている付近で、工事やメンテナンスが行われる場合には、

- (1) 誤作動や誤放出を行わせないように、二酸化炭素消火設備を熟知した消防設備士や消防設備点検資格者を立ち合わせる事。
- (2) その都度、消火剤が放出されないよう閉止弁を閉止する等の措置を講じた上でなければ当該工事等を開始しないなど、当該安全対策の確実な履行を徹底すること。
- (3) 関係者以外の方が立ち入らないように管理を徹底すること。

### 2 建物利用者への周知

防火管理者や自衛消防隊、二酸化炭素消火設備設置場所の利用者等に対して、二酸化炭素の人体に対する危険性、設備の適正な取扱方法、作動の際の対応方法、避難方法について周知する。

### 3 消火設備作動時の対応

二酸化炭素消火設備が作動した場合は、直ちに119番通報をして、関係者を避難させ放出場所に立ち入らせない。

## 二酸化炭素消火設備についてQ&A

**Q1 二酸化炭素消火設備とは、どのような設備ですか？**

A 二酸化炭素消火設備は、主に窒息消火により火災を鎮火させるための消火設備で、固定式と移動式があります。

**Q2 二酸化炭素消火設備は、どのような建物に設置されていますか？**

A 消火に伴う汚損が少なく、電気絶縁性があることから、一定規模以上の通信機器室、電気室、ボイラー室、駐車場などに設置されています。

**Q3 二酸化炭素消火設備の消火剤は、どのようにすると放出されますか？**

A 以下の2通りがあります。

① 手動起動装置(操作箱)の手動起動ボタンを押すと放出する場合

② 自動火災報知設備の感知器作動と連動して放出する場合

なお、安全のため消火剤の放出前には、音声による警報が鳴ります。

**Q4 二酸化炭素消火設備が作動した場合、どのような危険がありますか？**

A 消火剤である二酸化炭素には毒性(麻酔性)があるため、高濃度の二酸化炭素を人が吸うと即時に意識消失し、酸素欠乏症に陥り、死にいたる危険があります。

**Q5 主な二酸化炭素消火設備の誤放出の原因は何が考えられますか？**

A 手動起動装置の起動ボタンを誤って押ししまい、誤放出という事故が多発しています。

そのため、必ず停止ボタンをすぐ押せるようにしておくことが大切になります。

甲府地区消防本部予防課 055-222-1284  
中央消防署査察係 055-254-9119  
南消防署査察係 055-233-1499  
西消防署査察係 055-276-3825

